

1. はじめに

スターチス・シヌアータは、本県の主要花きの一つである。切り花単価が低迷するなか、本県の特異性を発揮し、有利に販売するうえで、オリジナル品種の育成が求められている。

ここでは、生産農家、県農協連合会、普及センターおよび暖地園芸センターが協力して育成したオリジナル品種「スイートライラック」の育成経過と特性について紹介する。

なお、本品種は、生産農家である御坊市の堀秀男氏が平成12年3月、品種登録申請を行ったものである。

2. 育成経過

平成8年、堀秀男氏が、栽培中の種子系品種「ソピア」の中から高性で花色および草姿が優れた個体を発見した。同年、その株を組織培養で増殖した。平成9年、増殖個体を栽培し、早生の株を選抜し、栄養繁殖により増殖を行った。平成10年より2年間にわたり育成地において安定性を確認するため試作を重ねた。さらに、平成11年には暖地園芸センターガラス温室で特性調査、御坊市名田町のビニールハウスで現地適応性検定を行った。

3. 新品種「スイートライラック」の特性

本品種は、主な特性として以下のことがあ

表1 「スイートライラック」の生育特性

品種系統名	草丈 (cm)	分けつ 数 (コ)	茎の 太さ (mm)	花 茎 抽台数 (本/株)
スイートライラック	105.8	4.5	7.3	9.3
サンデーライトブルー	88.3	4.3	6.1	8.8

注) 暖地園芸センター内ガラス温室で栽培
9月14日に定植、年内無加温、無電照

表2 「スイートライラック」の切り花品質

品種系統名	分枝長 (cm)	花房 数 (房)	花房の大きさ		花冠		が く	
			長さ (cm)	幅 (cm)	色	JHS	色	JHS
スイートライラック	4.5	9.5	9.0	4.8	淡緑黄	2903	明紫-淡紫*	8604-8602*
サンデーライトブルー	3.8	7.6	8.1	4.6	淡緑黄	2903	明青味紫	8305

注) *「スイートライラック」がくの色：周辺部-中心部を示す

げられる(表1、2)。

- (1) 9月上旬定植で10月上旬に抽台し11月上旬から開花する。
- (2) 草丈は、高性で100cm以上に達し、茎が太く、分枝数が多い。
- (3) 花房の形が整い、大きさは「サンデーライトブルー」と同程度であるが、花房数が9.5房と多くボリューム感がある。
- (4) がくの色は周辺部で明紫(JHS8604)、中心部で淡紫(JHS8602)の複色を示し、花色は淡緑黄(JHS2903)であり、低温下で発色が優れる。

4. 栽培上の留意点

樹勢が旺盛であるため、定植前の基肥は控える。

5. おわりに

今回、スターチス・シヌアータのオリジナル品種として新たに「スイートライラック」が育成された。さらに、花色の多様化、病害抵抗性品種の育成等、オリジナル品種の充実が求められている。今後も、「産地の発展のため、生産者自身の手で新しい品種を」を合言葉に、産地が一体となって進めたいものである。

(育種部 宮本芳城)

